



平成31年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成31年3月29日

上場会社名 株式会社 岡山製紙 上場取引所 東
 コード番号 3892 URL <http://www.okavamaseishi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 津川 孝太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 妻鹿 徹 TEL 086-262-1101
 四半期報告書提出予定日 平成31年4月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年5月期第3四半期の業績（平成30年6月1日～平成31年2月28日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年5月期第3四半期	7,507	11.5	555	—	598	—	394	—
30年5月期第3四半期	6,731	7.1	△23	—	14	△93.0	3	△97.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年5月期第3四半期	79.89	—
30年5月期第3四半期	0.71	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年5月期第3四半期	12,714	8,418	66.2
30年5月期	12,101	7,999	66.1

(参考) 自己資本 31年5月期第3四半期 8,418百万円 30年5月期 7,999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年5月期	—	6.00	—	6.00	12.00
31年5月期	—	6.00	—	—	—
31年5月期（予想）	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年5月期の業績予想（平成30年6月1日～平成31年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	13.6	555	—	600	661.5	420	855.4	85.23

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年5月期3Q	5,500,000株	30年5月期	5,500,000株
② 期末自己株式数	31年5月期3Q	550,876株	30年5月期	565,370株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年5月期3Q	4,941,878株	30年5月期3Q	4,925,768株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(第3四半期累計期間)	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における経営成績については、インターネット通信販売など電子商取引の普及や好景気を受けた活発な荷動きにより、当社の主要製品である段ボール原紙(中芯原紙)の販売は堅調で、中国向け輸出の影響により原料古紙価格は不安定であったものの、製品価格改定が浸透したこと等から増収増益となりました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は7,507百万円(前年同四半期比11.5%増)、営業利益は555百万円(前年同四半期は営業損失23百万円)、経常利益は598百万円(前年同四半期は経常利益14百万円)、四半期純利益は394百万円(前年同四半期は四半期純利益3百万円)となりました。

各セグメントの概況は次のとおりであります。

○板紙事業

当事業関連では、販売数量が前年同四半期比1.1%増加し、製品価格改定も浸透したため、売上高は6,569百万円(前年同四半期比11.7%増)、セグメント利益は570百万円(前年同四半期はセグメント利益11百万円)となりました。

○美粧段ボール事業

当事業関連では、主力の通信機器関連品が順調に推移し、売上高は937百万円(前年同四半期比10.7%増)、セグメント損失は14百万円(前年同四半期はセグメント損失35百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は12,714百万円となり、前事業年度末に比べ613百万円増加しました。内訳は、流動資産が647百万円の増加、固定資産が34百万円の減少であります。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金354百万円の増加であります。また、固定資産減少の主な要因は、機械及び装置128百万円の減少であります。

負債は4,295百万円となり、前事業年度末に比べ193百万円増加しました。内訳は、流動負債が158百万円の増加、固定負債が35百万円の増加であります。

流動負債増加の主な要因は、支払手形及び買掛金204百万円の増加であります。また、固定負債増加の主な要因は、繰延税金負債47百万円の増加であります。

純資産は8,418百万円となり、前事業年度末に比べ419百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金335百万円の増加であります。

以上の結果、自己資本比率は前事業年度末の66.1%から66.2%となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前事業年度との比較・分析を行っております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点では不確定な要素が多く、特に原料古紙価格の推移は不透明であるため、平成31年1月4日に公表した業績予想を変更しておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成31年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,944,628	3,299,069
受取手形及び売掛金	3,670,327	3,992,392
商品及び製品	338,871	417,995
仕掛品	16,600	32,328
原材料及び貯蔵品	514,749	390,065
その他	22,420	23,723
貸倒引当金	△2,000	△2,000
流動資産合計	7,505,597	8,153,575
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	456,571	429,824
構築物(純額)	103,310	98,270
機械及び装置(純額)	1,066,004	937,075
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	13,715	19,927
土地	194,549	194,549
リース資産(純額)	32,588	36,889
建設仮勘定	215	5,790
有形固定資産合計	1,866,953	1,722,326
無形固定資産		
	8,043	9,821
投資その他の資産		
投資有価証券	2,708,585	2,816,568
出資金	9,793	9,793
その他	2,055	2,055
投資その他の資産合計	2,720,434	2,828,417
固定資産合計	4,595,431	4,560,564
資産合計	12,101,029	12,714,139
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,158,070	2,362,680
未払金	292,958	256,573
未払費用	604,812	550,930
未払法人税等	96,307	124,754
その他	86,891	102,394
流動負債合計	3,239,040	3,397,332
固定負債		
繰延税金負債	363,540	411,146
退職給付引当金	424,582	409,759
その他	74,691	77,368
固定負債合計	862,814	898,273
負債合計	4,101,854	4,295,606

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成31年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	821,070	821,070
資本剰余金	738,312	744,487
利益剰余金	4,989,449	5,324,965
自己株式	△213,251	△207,786
株主資本合計	6,335,580	6,682,735
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,663,594	1,735,797
評価・換算差額等合計	1,663,594	1,735,797
純資産合計	7,999,174	8,418,533
負債純資産合計	12,101,029	12,714,139

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年6月1日 至平成31年2月28日)
売上高	6,731,225	7,507,427
売上原価	5,730,103	5,905,189
売上総利益	1,001,121	1,602,238
販売費及び一般管理費	1,024,701	1,046,346
営業利益又は営業損失(△)	△23,579	555,891
営業外収益		
受取配当金	36,668	41,110
その他	3,667	3,033
営業外収益合計	40,335	44,144
営業外費用		
売上割引	1,761	1,963
その他	6	3
営業外費用合計	1,768	1,967
経常利益	14,987	598,068
特別利益		
投資有価証券売却益	569	—
特別利益合計	569	—
特別損失		
固定資産除却損	—	20,753
特別損失合計	—	20,753
税引前四半期純利益	15,556	577,315
法人税、住民税及び事業税	54,042	166,518
法人税等調整額	△41,970	15,979
法人税等合計	12,072	182,497
四半期純利益	3,484	394,818

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。